

3. ウイルス検定

1) イネ絹葉枯ウイルス

- ・目的
ヒメトビウンカのイネ絹葉枯病ウイルス保毒虫率の実態を明らかにし、防除対策の参考に資する。
- ・検定虫採集
越冬世代虫 (3月)、第1世代虫 (5月17~31日)
- ・検定期期
越冬世代虫 (5月29~31日)、第1世代虫 (5月29~6月1日)
- ・検定方法
ラッセクス凝集反応法
- ・検定結果

第1表 ヒメトビウンカの絹葉枯ウイルス保毒率 (越冬世代虫)

採集場所	検定虫数	保毒虫数	保毒率
諫早市 貝津	17	1	5.9 %
大村市 今村	78	2	2.6
吾妻町 布江	27	1	3.7
〃 牛口	56	1	1.8
県全体	178	5	2.8

第2表 ヒメトビウンカの絹葉枯ウイルス保毒率

採集場所	検定虫数	保毒虫数	保毒率
佐世保市 俊ヶ浦	4	0	0 %
〃 宮	67	0	0
諫早市 貝津	65	6	9.2
〃 長野	114	3	2.6
大村市 鈴田	70	0	0
〃 三浦	50	2	4
〃 今村	8	0	0
福江市 西来院	100	2	2
多良見町 船津	100	1	1
大瀬戸町 雪ノ浦	23	1	4.3
高来町 湯江	85	2	2.4
吾妻町 布江	88	0	0
西有家町	50	0	0
田平町 上亀	20	0	0
巖原町 小茂田	6	0	0
上県町 佐護	2	0	0
県全体	852	17	2.0

第3表 保毒率の推移

検定期期	保毒率
年月	
昭 60.11	11.2
61. 3	17.2
61. 5	10.9
61.11	15.9
62. 3	6.1
62. 6	5.9
62.11	3.4
63. 3	1.7
63. 6	1.8
平 1. 3	0.5
1. 5	1.5
2. 3	2.2
2. 5	1.9
3. 3	2.8
3. 5	2.0

2) イネ萎縮ウイルス

- ・目的
ツマグロヨコバイのイネ萎縮病ウイルス保毒虫率の実態を明らかにし、防除対策の参考に資する。
- ・検定虫採集
第1世代虫：5月17~31日
- ・検定期期
第1世代虫：5月29日~6月1日
- ・検定方法
ラッセクス凝集反応法
- ・検定結果

第1表 ツマグロヨコバイの萎縮ウイルス保毒率 (第1世代虫)

採集場所	検定虫数	保毒虫数	保毒率	備考
諫早市 貝津	50	0	0 %	
大村市 今村	49	2	4.1	
松浦市 志佐	29	1	3.4	
大瀬戸町 雪ノ浦	40	2	5	
国見町 神代	127	2	1.6	
加津佐町 六反田	100	0	0	
県全体	395	7	1.8	

第2表 ツマグロヨコバイの萎縮ウイルス保毒率の推移

検定期期	保毒率
年月	%
昭 63. 7	4.2
63.10	0.9
平 2. 6	2.4
3. 6	1.8